

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	放課後等デイサービスハッピークルー		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化せず、利用者の方に満足いただけている内容が多い。	マンネリ化しないように、職員一人一人が丁寧に計画し、準備をしている。	特にご好評いただいた活動プログラムに関しては、回数を増やす。活動プログラムに関して、より良い内容にできるよう職員間での意見交換やフィードバックの機会を更に増やしていく。
2	事業所での様子や活動の内容を、毎日の連絡帳や定期的なブログ等に写真付きで公開し、保護者の方に好評いただいている。	なかなか事業所に足を運んで様子を見ることができない保護者の方にも、様子がわかるように意識している。コメントでは一人ひとりの様	今後も継続していくとともに、より丁寧に分かりやすい内容に改善する努力をする。
3	日頃から保護者との情報共有を密に行い、児童の状況把握や保護者からの相談などに対応している。	送迎時に保護者との情報共有を行い、足りない部分は電話やメールで細かく対応している。相談等を受けた時は職員間で共有し、全員が把握して支援に生かしている。	保護者等が安心して子どもを預けられるよう、相談しやすい場を作っていく。できる限りの最善策をご提案できるよう、従業者の学ぶ機会を増やす。

	事業所の弱み(※)だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会など保護者同士の意見交換などの場を提供できていない。	時間の確保や準備などを考えるとなかなか計画が進まない。	保護者会は無理に大きく始めようとするのではなく、少人数・短時間のミニ懇談会などからスタートする。
2	障害のない子どもや地域住民との交流の機会が少ない。	地域の方を招くようなイベントの準備に要する時間などを考えると、課題が多い。	地域の公園で子ども達が利用しそうな時間を意識して利用することで交流できるようにしていく。ゴミ拾いなどボランティア活動を通しての交流ならば可能。
3			